

前回の議論を踏まえた今後の審議会を進めるうえでの論点整理

1 学校の現状『子どもの状況はどうなっているのか』

○学力・・・学力テストの状況、英語教育、教師の意識、今求められているもの

○不登校・・・現状、支援の状況

○経済格差と生活の乱れの状況・・・支援の必要性

○発達障がいの子どもの状況・・・指導と支援の状況

○子どもはどのように願っているか

○社会的・職業的自立を図る教育の状況・・・キャリア教育、総合学習

※小諸で育つことを誇りにして成長する子ども→意欲・志の育成

→指導主事や現場の教職員（校長・教頭・教員）との懇談等により優良事例や課題等を明らかにし、それらの課題解決に向けた『今後の学校のあり方』について協議

2 学校を核としたまちづくり『地域の方々の参加による子ども支援』

○現状の把握・・・コミュニティ・スクールの実施状況、支援者の考え

○現在の評価と今後のあり方

※「幼保～小学校～中学校、高校を連携して育成」→そのために必要な仕組みと施設

→『市民とともに歩む学校のあり方』について協議

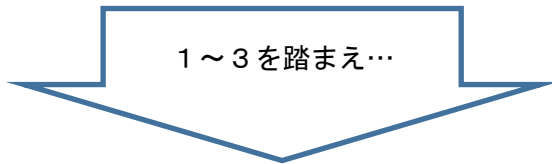
3 小諸市の状況

○芦原中学校区と小諸東中学校区それぞれの人口・経済・地域の状況

○今後のまちづくりの展望・・・今後予想される変化

(外国人の就業、産業分野別の見通し等)

→『これからの小諸市と学校のあり方』について協議



4 どんな学びの場を作っていくか

○どういう子どもに育ててほしいのか（小諸で育つ子どもへの願い）

○個に応じた教育のあり方

○一貫教育の是非（教育の方向）

○職員研修のあり方

5 早急に進めるべき事項（当面の対応のあり方）

○ハード面・・・どのような状況になれば（再編や改築を）進められるか

○ソフト面・・・再編・改築を待たずに実行可能なものは先行して取り組む

→実行しながら校舎建築に生かす